

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

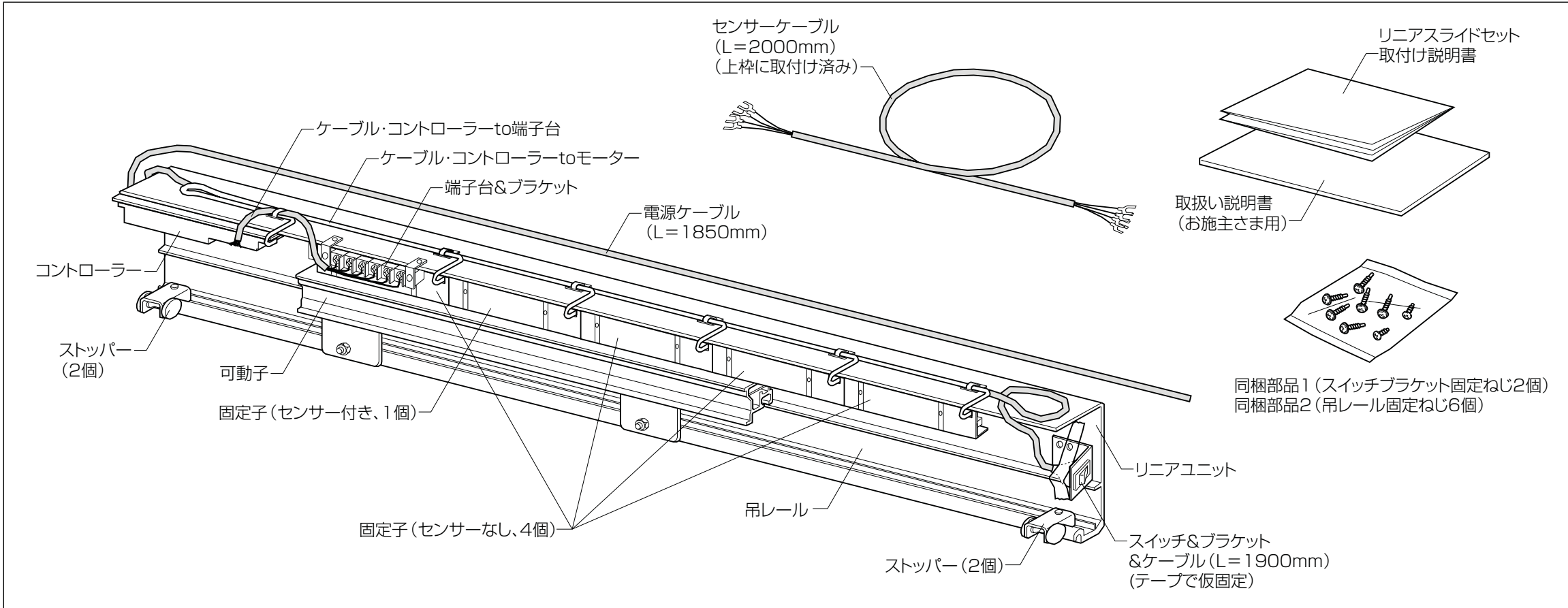
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警告

●チャイム線など既設の配線には、交流100Vが通電されている場合があります。その配線を利用すると感電および機器の破損の原因となります。
●開口部から内部に金属類を差込んだり、落したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●交流100Vを機器本体に直接接続する（AC直結式）の配線・取付け・結線は、電気工事士の資格が必要です。
●電源コードをキズつけたり重いものをのせないでください。コードが破損して感電・火災の原因となります。

■各部名称図



■取付け順序

■1 アングルの取付け

●**①** アングルを**②** ねじで、リニアユニットに固定してください。
※絵の向きに合わせて取付けてください。

■2 リニアユニットの取付け

①センサーケーブルの配線束を上枠カバーに仮止めしてください。（テープごと張付け直してください。）
②リニアユニットを、同梱されている**④**のねじで上枠に取付けます。
※リニアユニットを取付ける時は、可動子を左右に動かし、取付けてください。

（図-2）

●お願い

●片袖タイプの場合は、袖を取付けてからリニアユニットを取付けてください。詳細は、枠の取付け説明書を参照してください。

■断面図

販売店さま作業

■3 センサーケーブルの結線
①端子台カバーを外してください。
②上枠カバーにテープで仮止めした灰色配線コードを、（**■A部詳細図**）のように端子台に結線してください。
③リニアオートスライドの場合は、縦枠から出ている2本の白線・白黒線を（**■A部詳細図**）のように結線してください。
※リニアアシストスライドの場合は、この作業は不要です。
④結線後、端子台カバーを取付けてください。

■A部詳細図

配線色	白黒色	白色	赤色	緑色	黒色	白色	現場にて配線
キャップ色	キャップなし	キャップなし	黄色	黄色	灰色	灰色	
番号	①	②	③	④	⑤	⑥	※端子台に番号は書いてありません
配線色	赤色	緑色	赤色	緑色	黒色	白色	
ラベル文字	起 動		補 助		AC100V		出荷時取付け済

販売店さま作業

■4 リニア電源の結線・スイッチの固定（※必ず電気工事士の資格者が作業してください。）

（図-3）

●お願い

●必ず縦枠側のねじと一緒にねじ止めてください。

●お願い

●灰色電源線と灰色配線コードを、可動子があたらないように取りまわしてください。

■B部詳細図

販売店さま作業

■障子本体の建込み方法

①ハンガーベースに取付いているナットを外してください。
②ドア本体を持ち上げ、いったんドア本体の下部を、オールステンレス下枠のガイドローラーにのせます。
③右図の**①**→**②**の順に引掛けてください。
④**①**で外したナットを、元の位置にゆるまないようにしっかりと固定してください。

（図-4）

（図-5）

■障子本体の建付け調整

【上部にすき間がある場合】
①上枠カバーフックの下側のねじを外してください。
②上側のねじをゆるめて、上枠カバーフックを90度～180度回転させてください。
③戸尻側のハンガー取付けボルト（2本）をゆるめてください。
④スペーサーを1枚抜いてください。
⑤取付けねじを締めてすき間を確認して、まだすき間があればもう1枚スペーサーを抜いてください。
⑥2枚抜いてもすき間がある場合は、戸先側のハンガー取付けボルトをゆるめて、戸先側に**①**で抜いたスペーサーを入れてください。
⑦最後にハンガー取付けボルトおよび、上枠カバーフックのねじを元通りに締めてください。

【下部にすき間がある場合】
①上枠カバーフックの下側のねじを外してください。
②上側のねじをゆるめて、上枠カバーフックを90度～180度回転させてください。
③戸尻側のハンガー取付けボルト（2本）をゆるめてください。
④スペーサーを1枚抜いてください。
⑤取付けボルトを締めてすき間を確認して、まだすき間があればもう1枚スペーサーを抜いてください。
⑥2枚抜いてもすき間がある場合は、戸尻側のハンガー取付けボルトをゆるめて戸尻側に**①**で抜いたスペーサーを入れてください。
⑦最後にハンガー取付けボルトおよび、上枠カバーフックのねじを元通りに締めてください。

（図-6）

（図-7）

※スペーサー拡大図

●お願い
●ボルトは、ゆるまないようにしっかりと締めてください。